

令和8年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 令和8年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、多くの方に喜んでいただけるよう令和8年度についても積極的に事業を実施してまいります。また、昨年度より開始した「多摩未来奨学金」給付事業を通じて、未来の多摩地域に貢献できる学生を育て、地域の活性化へ繋げていきます。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)は、「たましん美術館」(立川市)において、企画展を4会期開催予定です。第1会期の「春のたましんコレクション展」は、来館者にたましんコレクションへの親しみをもっていただき、展示室をめぐりながら鑑賞体験を深められる展覧会となっております。第2会期の「多摩の作家たちと異国」は、多摩の作家が描いたヨーロッパやアジアの異国風景に加えて、海外の作家の作品を紹介する展覧会です。第3会期の「第51回大学版画展」は、全国の美術系大学で版画を専攻する現役学生の選抜作品を紹介する企画展です。全国から集結する新たな時代を彩る版画作品約90点を紹介します。第4会期「多摩の美術家3人展 II」は、多摩地域を拠点、あるいはゆかりとし、精力的に活動を続けている作家を紹介する展覧会の第二弾です。(「たましん歴史・美術館」(国立市)は、大規模修繕工事のため休館。)また、たましん美術館展覧会期間中に、トークイベント、ワークショップ、講演会を実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。また、博物館実習生の受入れ、美術館、収蔵庫の環境改善、美術資料・図書資料データベースの整理についても取り組んでいきます。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年行っている事業及び昨年度より継続して行っている『多摩のあゆみ』創刊50周年記念事業として、『多摩のあゆみ創刊50周年記念特集号』を202号アーカイブ編、203号美術編として発行します。また、(公財)図書館振興財団助成金を活用し、デジタルアーカイブの拡充を図っていきます。『多摩のあゆみ』の今後の運営を更に円滑にすすめるため、新たな研究会の組織・運営について検討していきます。地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。なお、歴史資料室の運営において、多摩信用金庫国立支店建物全体のリニューアル工事期間中は、資料室を休室します。

公3(奨学金給付事業)、事業名の「多摩未来奨学金」は、多摩地域の企業・団体から拠出の資金を原資として、成績優秀な学生のうち経済的な理由により修学困難な学生の勉学を後押しするための返済義務のない給付型奨学金制度です。昨年度の活動を更にブラッシュアップし、多摩地域で活躍・貢献できる学生を育て、地域の活性化を図っていきます。

## II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

公3.奨学金給付事業(以下「多摩未来奨学金」という。)

## 1. 美術(公1)

### (1) 企画展覧会

#### ① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

##### 1) 「春のたましんコレクション展 2026 ソウゾウのめばえ」(仮)

令和8年4月11日(土)～7月5日(日)(74日間)

すべて「たましんコレクション」で構成された展覧会。より多くの来館者にコレクションへの親しみをもってもらい、作品鑑賞の楽しみを得ていただけることを目指して、それぞれの作品について「楽しみかたのヒント」を付し、展示室をめぐるながら鑑賞体験を深められる企画展です。一つの作品と時間をかけて向き合ったり、異なる作品同士を比較してみたりと、幅広い鑑賞方法を提案します。

##### 2) 「多摩の作家たちと異国」(仮)

令和8年7月18日(土)～10月4日(日)(68日間)

多摩の作家が描いたヨーロッパやアジアの異国風景に加えて、海外の作家の作品を紹介する展覧会です。美術家たちは異国に触れた時に心動かされた場面や物をどのようにして造形化したのか。夏休みシーズンにあわせて、この地にいながらにして出会える異国・異文化を紹介します。さらに倉田三郎が異国の風景を描いた油彩や素描とともに、歴史資料室の倉田三郎旧蔵の絵葉書も展示しデジタルアーカイブも紹介します。

##### 3) 「第51回大学版画展」(仮)

令和8年10月21日(水)～12月20日(日)(53日間)

全国の美術系大学で版画を専攻する現役学生の選抜作品を紹介する展覧会です。全国から集結する新たな時代を彩る版画作品約90点を紹介します。芸術活動が盛んな多摩地域にある「アートのみち」立川に位置する当館と、版画教育と発展を支えてきた版画学会の共催で実施し、展示を通して新しい時代の版画の可能性を発信していきます。

##### 4) 「多摩の美術家3人展 II」(仮)

令和9年1月9日(木)～3月22日(月)(63日間)

多摩地域を拠点、あるいはゆかりとし、精力的に活動をしている作家を個展形式で紹介する展覧会の第二弾です。他館に所属する学芸員(瑞穂町郷土資料館)の推薦する作家を加えて、立体造形を中心に3名の作家の作品を紹介します。

#### ② たましん歴史・美術館

大規模修繕工事のため休館。

- ③ たましん本店 2 階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営  
たましん本店 2 階ギャラリーの企画選定委員会の実施、展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。

## (2) 調査・研究・収集・保存

- ① 収蔵庫の環境改善  
経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行い、専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行っていきます。
- ② 所蔵品の修復および額・保存箱新装  
経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進めます。
- ③ 作品の調査・研究  
収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進めます。
- ④ 美術作品・図書資料データベースの整備  
美術品の一元管理を可能とすることで利便性の向上をはかり、現有資料の分類・整理を確実に行えるよう体制づくりを実施します。将来的には、歴史資料室所蔵図書資料との統合データベース作成により横断検索や資料の活用を円滑に行えるようにしていきます。
- ⑤ たましん美術館『年報』発行  
たましん美術館年報第 3 号(2024-2025)を作成。
- ⑥ 美術館環境管理・運営  
展示室内の湿度を保つためのアートソープ、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備していきます。

## (3) 美術講座・美術教育

- ① ギャラリートーク  
展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行います。
- ② トークイベント、体験型イベント  
外部講師に依頼し、一般向け参加型鑑賞会やワークショップ等を行います。
- ③ 美術講演会  
くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全 3 回の講演を予定しております。
- 講師 齋藤陽一氏  
(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)
- タイトル 「未定」
- 会場 FSX ホール(くにたち市民芸術小ホール)
- 募集人員 毎回 70 名(延べ 210 名) 受講料 無料

#### ④ 博物館実習

大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行います。

### (4) 連携

#### ① 学校との連携

地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学等来館誘致を行います。  
令和8年度は職場体験の受入れは休止します。(大規模修繕工事期間中のため)

#### ② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンズプリングス、立川市)との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。

#### ③ 関連団体との連携

ぐるっとパス事業に参加することにより情報発信の機会を増やし、美術館の認知度を高めていきます。また、全国美術館会議に会員となることにより、業界情報も収集や他館との交流等に繋げていきます。

### (5) 広報・普及活動

#### ① 広報活動の実施

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。また、SNS や WEB 上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していきます。

#### ② 年間スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを、日英バイリンガルにて発行します。

#### ③ 小中学校向け学習資料

小中学校向けの展覧会ガイドをホームページに公開します。

#### ④ 翻訳事業

たましん美術館を説明する主要なテキスト(ホームページ、年間スケジュール等)を英語に翻訳します。

#### ⑤ 展示室内撮影

広報資料に使える展示室内の風景写真を撮影します。

## 2. 歴史(公2)

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

202号「創刊50周年記念 アーカイブ編」(仮題)	令和8年5月31日発行
203号「創刊50周年記念 美術編」(仮題)	令和8年8月31日発行
204号「中近世の社寺と信仰」(仮題)	令和8年11月30日発行
205号「富士講と富士塚」(仮題)	令和9年2月28日発行

## (2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、資料については、当財団のホームページでも検索ができます。なお、大規模修繕工事期間中は資料室は休館します。

また、伊与田昌男コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築及び調査研究を継続して実施していきます。歴史資料室の活動状況については、年報を作成し、当財団のホームページにてオンラインジャーナルとして公開します。

これまでも、各種のテーマを設定した研究会活動を通して、当該テーマに関する研究状況の把握や研究者ネットワーク構築に努めることで、『多摩のあゆみ』の編集を円滑に進めてきました。今年度は新研究会の設立準備を目的として、研究テーマの立案、研究メンバーの選定と依頼、研究会の活動案策定などを進めます。

## (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、75～100名を募集します。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

## (4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

## (5) 多摩の金融史関係資料の調査研究

多摩金融史研究会は、年度4回(6・9・12・3月)開催しています。多摩信用金庫の協力を得て、武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。

また、多摩金融史研究会による「多摩の金融史」の連載は、『多摩のあゆみ』誌上で第30回を超えました。今年度は、第202～205号に掲載の「多摩の金融史」連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。

## (6) 広報・普及活動

### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNS において公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

### ② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。また、『多摩のあゆみ』創刊 50 周年記念事業の一環として、(公財)図書館振興財団助成金を活用して、デジタルアーカイブの拡充を図ります。

## 3. 奨学金給付事業(公3)

### (1) 多摩未来奨学金給付

#### ① 多摩地域各大学に奨学生推薦の依頼(学長推薦)

実施期間	4月～6月
奨学金給付事業名	多摩未来奨学金(給付型奨学金)
募集人数	10～15名程度
資格	多摩地域所在の大学の学生で、多摩地域に在住している又は多摩地域のキャンパスに通学する成績優秀な学生のうち経済的な理由により修学困難な学生(四年生大学2年生または3年生、短期大学2年生)
給付	年間30万円(1年間)
その他	他の奨学金制度との併用可能、在学中の採用1回のみ

#### ② 選考委員会の開催(実施時期 7月～8月)

選考委員会は、学識経験者、当財団の役員及び評議員、理事長が必要と認める者のうちから理事長が委嘱する。選考委員は、6名以内とする。(任期は2年、再任は可)一次選考(書類審査)、二次選考(面接審査)を通過した応募者を選考委員会が審査する。

#### ③ 交付式の開催(実施時期 8月)

選考委員会の審査を経て、理事長が決定した奨学生を理事会、評議員会に報告後、合格証の交付を行う。また、次世代につなげる機会として、令和7年度奨学生による「先輩からのメッセージ」を贈ります。

#### ④ 修了式の開催(実施時期 令和9年3月)

奨学生に多摩未来奨学金の修了にあたり、活動を通じて多摩地域について学んだことを参考に、「今後どのように多摩地域に貢献していくか(仮)」を発表する。

修了式後、懇親会開催(関係者招待)

活動報告書を作成し、奨学生、寄付先企業、団体、関係者へ後日配布

## (2) 奨学金給付の関連イベント

- ① 美術鑑賞会、近況報告会(実施時期 8月～11月)  
たましん美術館において作品鑑賞(学芸員による作品解説)  
寄付企業、関係者等を招待し、奨学生による近況報告を実施
- ② 多摩地域の歴史等について情報提供(実施時期 10月～12月)  
奨学生に対して、季刊郷土誌『多摩のあゆみ』を送付、多摩の歴史講座のオンライン配信を視聴等当財団歴史資料室の活動について紹介し、活用してもらう。(資料閲覧室は令和8年度は大規模修繕工事中のため休室)

## (3) 事業体制の構築

- ① 大学、多摩地域企業・団体との交流機会の創出  
「多摩ブルー・グリーン倶楽部」例会に参加し、多摩地域の優良企業経営者との交流を図り、多摩地域の知見を高める。  
大学、多摩地域企業・団体と情報交換を行うとともに奨学金事業の周知を図る。  
奨学生の近況報告会等にご出席いただき、学生との接点を作る。(近況報告会終了後、名刺交換会、懇親会の開催)  
寄付企業を中心とする企業への奨学生による職場見学会の開催。
- ② 多摩地域企業・団体に寄付金協力の依頼  
募集総額 6,000 千円  
募集対象 企業・団体等(1口5万円から)  
募集理由 奨学金の給付・奨学金事業運営のため

## Ⅲ. 収益事業

### 1. 物品販売事業 (収1)

#### (1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、会期に合わせた関連商品、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

## Ⅳ. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第1項第10号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和6年6月17日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最

- 終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和6年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
  - ③ 監事 令和6年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

**(2) 理事会等の開催**

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

**2. 寄付金協力依頼について(定款第4条第1項第10号)**

- 募集金額 1,000 千円
- 募集対象 個人・企業・団体等
- 募集理由 美術(公1)、歴史(公2)事業運営のため

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第9号、第10号)

(予算額 8,674 千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	春のたましんコレクション展 2026 ソウゾウのめばえ(仮)	自主	4月11日(土) ～7月5日(日)	74	すべて「たましんコレクション」で構成された展覧会。より多くの来館者にコレクションへの親しみをもってもらい、作品鑑賞の楽しみを得ていただけることを目指して、それぞれの作品について「楽しみかたのヒント」を付し、展示室をめぐりながら鑑賞体験を深められる企画とする。一つの作品と時間をかけて向き合ったり、異なる作品同士を比較してみたりと、幅広い鑑賞方法を提案する。	1,127
2	多摩の作家たちと異国(仮)	自主	7月18日(土) ～10月4日(日)	68	多摩の作家が描いたヨーロッパやアジアの異国風景に加えて、海外の作家の作品を紹介する展覧会。美術作家たちは異国に触れた時に心動かされた場面や物をどのようにして造形化したのか。夏休みシーズンにあわせて、この地にいながらにして出会える異国・異文化を紹介する。さらに倉田三郎が異国の風景を描いた油彩や素描とともに、歴史資料室の倉田三郎旧蔵の絵葉書も展示しデジタルアーカイブも紹介する。	1,132
3	第51回大学版画展(仮)	共催	10月21日(水) ～12月20日(日)	53	全国の美術系大学で版画を専攻する現役学生の選抜作品を紹介する展覧会。全国から集結する新たな時代を彩る版画作品約90点を紹介する。芸術活動が盛んな多摩地域にある「アートのみち」立川に位置する当館と、版画教育と発展を支えてきた版画学会の共催で実施し、展示を通して新しい時代の版画の可能性を発信する。	981
4	多摩の美術家3人展 II (仮)	自主	2027(令和9)年 1月9日(土) ～3月22日(月)	63	多摩地域を拠点、あるいはゆかりとし、精力的に活動を行っている作家を紹介する展覧会の第二弾。他館に所属する学芸員(瑞穂町郷土資料館)の推薦する作家を加えて、立体造形を中心に3名を紹介。2025年度の三人展の方式に倣って会場を区切り、個展に近い形で展開する。	1,640

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	休館中				大規模修繕工事に伴う移転のため休館	0

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	たましん本店2階地域貢献スペースの展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。企画選定委員会の実施も含む。	230

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名			
1	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されていた武蔵野収蔵庫の環境改善を継続し、これ以上の被害を出さないようにするため専門業者による定期的な環境調査を行う。併せて年間を通して継続的な清掃業務に必要な資材を準備する	244
2	所蔵品の修復および額・保存箱新装		経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進める。	620
3	作品の調査・研究		収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進める。	0
4	美術作品・図書資料データベースの整備		美術資料室の収蔵品がエクセル表と画像ファイルが連結されていない状況を解消し、美術品の一元管理を可能にすることで利便性の向上をはかり、現有資料の分類・整理を確実に進めるように体制づくりを実施する。また、将来的に歴史資料室所蔵図書資料との統合データベース作成により横断検索や資料の活用を円滑に行えるようにする。 下期からの運用を予定	1,188
5	たましん美術館『年報』発行		たましん美術館年報第3号(2024-2025)を作成する。	200
6	美術館環境管理・運営		展示室内の湿度を保つためのアートソープ、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備する。併せて環境悪化を防ぐための清掃等が行えるよう準備する。また美術館の業務に必要な文具・ソフトウェア等消耗品を準備する。	440

## (3) 美術講座・美術教育

## ① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

## ② トークイベント、体験型イベント

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「(仮称)ファミリーデイ」たましん美術館教育普及事業	自主	日時未定	外部講師に依頼し、一般向け参加型鑑賞会やワークショップ等を行う。	100

## ③ 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 テーマ「未定」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー) 会場 FSXホール(くにたち市民芸術小ホール) 募集人数 毎回70名(延べ210名) 受講料 無料	100

## ④ 博物館実習

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	博物館実習受け入れ	自主	日時未定	大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行う。	0

## (4)連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域の学校との連携	自主	通年	地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学等来館誘致を行う。 令和8年度は職場体験の受入れは休止する(大規模修繕工事期間中のため)	0

## ② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館周辺地区施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	立川市との連携				
3	立川市地域文化振興財団との連携				

## ③ 関連団体との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	ぐるっとパス事業等への参加	自主	通年	ぐるっとパス事業に参加することにより情報発信の機会を増やし、美術館の認知度を高める。また、全国美術館会議の会員となることにより、業界情報の収集や他館との交流等に繋げていく。	230

## (5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	広報活動の実施	自主	通年	当財団及び美術館ホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。SNSやWEB上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していく。	55
2	年間スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを、日英バイリンガルにて発行する。	122
3	小中学校向け学習資料	自主	通年	小中学校向けの展覧会ガイドをホームページに公開するPDFの作成	0
4	翻訳事業	自主	通年	たましん美術館を説明する主要なテキスト(ホームページ、年間スケジュール等)を英語に翻訳する	100
5	展示室内撮影	自主	通年	広報資料に使える展示室内の風景写真を撮影する	165

## 2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第9号、第10号)

(予算額 13,770 千円)

## (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	202号「創刊50周年記念 アーカイブ編」(仮題)	自主	5月	創刊50周年記念の3冊目は「アーカイブ編」です。令和7年12月13日に実施した創刊50周年記念シンポジウム「多摩のアーカイブを見つめて」を掲載し、あわせて多摩各地の鉄道会社資料、箱根土地株式会社取締役社長中島陟関係資料、多摩丘陵の植物資料などを紹介します。	<u>2,697</u>
2	203号「創刊50周年記念 美術編」(仮題)	自主	8月	創刊50周年記念の4冊目は「美術編」です。たましん美術館学芸員の協力を得て、武蔵野美術大学、武蔵野市立吉祥寺美術館、ギャラリー国立、瑞穂町郷土資料館けやき館、羽村市プリモホールゆとろぎ、たましん美術館などの活動を紹介しします。	<u>2,697</u>
3	204号「中近世の社寺と信仰」(仮題)	自主	11月	駒沢女子大学の皆川義孝教授(稲城市文化財保護審議会委員)と協働して、中近世多摩の社寺と信仰をテーマとします。多摩地域には前近代からの歴史と伝統をもつ社寺が点在しており、その境内は武士から百姓・町人・職人など身分を超えた人々の交流の場となりました。多摩の人々が神社仏閣とのつながりを通して築き上げてきた多様な信仰の展開と様々な交流の諸相を取り上げます。	<u>2,597</u>
4	205号「富士講と富士塚」(仮題)	自主	令和8年2月	江戸時代後期には、交通の整備や庶民生活の余裕を背景に聖地である山々への参詣がポピュラーになりました。富士山を信仰し、参詣する富士講は多く結成され、富士山を模した富士塚も各地に作られました。多摩地域にも東久留米市、清瀬市、東村山市市、青梅市、八王子市、府中市などに富士塚が残っています。その信仰と民俗について紹介します。	<u>2,597</u>

## (2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。なお、大規模修繕工事期間中は資料室は休室します。	505
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査研究	自主	通年	伊与田昌男コレクションは1992年の寄贈以来、写真原板や紙焼き写真、アルバム等の現物整理(28,000点以上)および目録化・デジタルデータ化を進めてきました。さらに、2023年度から2025年度にかけて保存環境を構築するため、ドライキャビネットの導入や保存容器のリハウジングを完了し、受贈時のネガプリント袋約1,300点をセルフスキャンしました。今後は更なる利用・公開に向けて、写真アーカイブ構築と伊与田昌男に関する調査研究を継続します。	10
3	歴史資料室年報の発行(調査研究)	自主	通年	歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、室員の活動報告や各活動における調査・研究成果を発表していきます。年報は職員による編集、当財団ホームページにてオンラインジャーナルとして公開します。なお、2024年度から予算化して、発行準備を進めてきた印刷物については、リニューアル中の国立支店に開設する新施設のあり方を鑑みて一時的に中断します。	40
4	研究会の組織・運営	自主	通年	これまで、当室では「二〇世紀の多摩研究会」「一九世紀の婚姻圏研究会」「多摩地域の戦時下資料研究会」など、各種のテーマを設定した研究会活動を通して、当該テーマに関する研究状況の把握や研究者ネットワーク構築に努めることで、『多摩のあゆみ』の編集を円滑に進めてきました。今年度は新研究会の設立準備を目的として、研究テーマの立案、研究メンバーの選定と依頼、研究会の活動案策定などを進めます。 テーマ:「多摩・武蔵野の別荘文化研究会(案)」「画家にとっての多摩(案)」	0

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	多摩の歴史講座	共催	9月～12月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。 テーマ: 昭和100年と多摩(案) 会場: 多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員: 75～100名(予定) 受講料: 無料	212
2	多摩の歴史講座ONLINEの配信	共催	3月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。『多摩のあゆみ』、ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。	33

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また各自治体の市史編さん事業や伝統文化ふれあい事業等への協力を通じて、市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

## (5) 多摩金融史関係資料の調査研究

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩金融史研究会の運営	自主	通年	多摩金融史研究会は、年度4回(6・9・12・3月)の研究会を開催しています。また、多摩信用金庫の協力を得て、武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。なお、研究会メンバーの先生方から新たな試みとして、「研究調査合宿」の提案があったので、当室においてもその運営やサポート体制を構築します。	110
2	「多摩の金融史」関係資料の活用	自主	通年	多摩金融史研究会による「多摩の金融史」の連載は、『多摩のあゆみ』誌上で第30回を超えました。今年度は、『多摩のあゆみ』第202～205号に掲載する「多摩の金融史」の連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。	0

## (6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNSにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	502
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。『多摩のあゆみ』創刊50周年記念事業の一環として、(公財)図書館振興財団助成金を受け実施しているデジタルアーカイブの拡充に前年度から引き続き取り組みます。	1,770

3. 奨学金給付事業(公3)

(定款 第4条 第1項 第8号、第9号、第10号)

(予算額 5,771 千円)

(1) 多摩未来奨学金給付

計画事業 通し番号	計 画		実施期間	計 画		予算額 (千円)
	事業名			事業内容及び説明		
1	多摩地域各大学に奨学生推薦の依頼(学長推薦)		4~6月	奨学金給付事業名:多摩未来奨学金(給付型奨学金) 募集人数 10~15名程度 資格 多摩地域所在の大学の学生で、多摩地域に在住している又は多摩地域のキャンパスに通学する成績優秀な学生のうち経済的な理由により修学困難な学生(四年生大学2年生または3年生、短期大学2年生) 給付 年間30万円(1年間) その他 他の奨学金制度との併用可能、在学中の採用1回のみ		5,268
2	選考委員会の開催		7月~8月	選考委員は、学識経験者、当財団の役員及び評議員、理事長が必要と認める者のうちから理事長が委嘱する。 選考委員は、6名以内とする。(任期は2年、再任は可) 一次選考(書類審査)、二次選考(面接審査)を通過した応募者を選考委員会が審査		97
3	交付式の開催		8月	選定委員会の審査を経て、理事長が決定した奨学生を理事会、評議員会に報告後、合格証の交付を行う。 次世代につなげる機会として、令和7年度奨学生による「先輩からのメッセージ」を贈る。		12
4	修了式の開催		令和9年3月	奨学生に多摩未来奨学金の修了にあたり、活動を通じて多摩地域について学んだことを参考に、「今後どのように多摩地域に貢献していくか(仮)」を発表する。 修了式後、懇親会開催(関係者招待) ※活動報告書を作成し、奨学生、寄付先企業、団体、関係者へ後日配布		160

(2) 奨学金給付の関連イベント

計画事業 通し番号	計 画		実施期間	計 画		予算額 (千円)
	事業名			事業内容及び説明		
1	美術鑑賞会、近況報告会		8~11月	たましん美術館において作品鑑賞(学芸員による作品解説) 寄付企業、関係者等を招待し、奨学生による近況報告を実施		155
2	多摩地域の歴史等について情報提供		10~12月	季刊郷土誌『多摩のあゆみ』について(奨学生へ発行都度配布) 多摩の歴史講座について(奨学生がオンライン配信の視聴) 歴史資料室について(紹介および活用)※閲覧室大規模修繕工事のため閉室中		3

(3) 事業体制の構築

計画事業 通し番号	計 画		実施期間	計 画		予算額 (千円)
	事業名			事業内容及び説明		
1	大学、多摩地域企業・団体との交流機会の創出		通年	「多摩ブルー・グリーン倶楽部」例会に参加し、多摩地域の優良企業経営者との交流を図り、多摩地域の知見を高める。 大学、多摩地域企業・団体と情報交換を行うとともに奨学金給付事業の周知を図る。 奨学生の近況報告会等にご出席いただき、学生との接点を作る。(近況報告会終了後、名刺交換会、懇親会の開催) 寄付企業を中心とする企業への奨学生による職場見学会の開催(令和9年1月~2月)		20
2	多摩地域企業・団体に寄付金協力の依頼		通年	①募集総額 6,000千円 ②募集対象 企業・団体等(1口5万円から) ③募集理由 奨学金の給付・奨学金事業運営のため		56

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第10号)

(予算額 620千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。 たましん美術館の会期に合わせた関連商品の製作販売および所蔵作品を活かした「たましん美術館」オリジナル商品の選定、商品化を行います。	620

令和8年度

収 支 予 算 書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和8年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和8年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)					収益事業等会計		法人会計	令和7年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	公3	共通	小計	取1	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	4,600,000	0	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000	0	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
特定資産運用益	30,000	0	0	0	30,000	30,000	0	0	0	0	0
特定資産運用益	30,000	0	0	0	30,000	30,000	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	4,250,000	3,200,000	50,000	0	0	3,250,000	1,000,000	1,000,000	0	5,250,000	△ 1,000,000
入館料収益	3,000,000	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	0	0	4,000,000	△ 1,000,000
図録販売収益	200,000	200,000	0	0	0	200,000	0	0	0	200,000	0
出版事業収益	50,000	0	50,000	0	0	50,000	0	0	0	50,000	0
物品販売収益	400,000	0	0	0	0	0	400,000	400,000	0	1,000,000	△ 600,000
委託販売収益	600,000	0	0	0	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000
受取補助金	960,000	320,000	640,000	0	0	960,000	0	0	0	0	960,000
受取寄付金	105,180,000	18,500,000	0	9,170,000	64,000,000	91,670,000	350,000	350,000	13,160,000	102,360,000	2,820,000
雑収益	900,000	550,000	300,000	0	0	850,000	0	0	50,000	880,000	20,000
雑収益	900,000	550,000	300,000	0	0	850,000	0	0	50,000	880,000	20,000
<b>経常収益計(A)</b>	<b>115,920,000</b>	<b>22,570,000</b>	<b>990,000</b>	<b>9,170,000</b>	<b>68,630,000</b>	<b>101,360,000</b>	<b>1,350,000</b>	<b>1,350,000</b>	<b>13,210,000</b>	<b>113,090,000</b>	<b>2,830,000</b>
(2) 経常費用											
事業費/管理費(法人会計)	124,790,000	57,720,000	35,500,000	9,170,000	6,780,000	109,170,000	840,000	840,000	14,780,000	105,230,000	19,560,000
売上原価	120,000	0	30,000	0	0	30,000	90,000	90,000	0	110,000	10,000
役員報酬	470,000	0	0	0	0	0	0	0	470,000	500,000	△ 30,000
給料手当	25,280,000	13,600,000	11,680,000	0	0	25,280,000	0	0	0	23,040,000	2,240,000
臨時雇賃金	10,040,000	4,890,000	3,780,000	0	0	8,670,000	0	0	1,370,000	10,230,000	△ 190,000
選考委員報酬	40,000	0	0	40,000	0	40,000	0	0	0	0	40,000
賞与引当金繰入	2,130,000	1,130,000	1,000,000	0	0	2,130,000	0	0	0	1,590,000	540,000
退職給付費用	680,000	380,000	300,000	0	0	680,000	0	0	0	470,000	210,000
法定福利費	4,990,000	2,240,000	2,540,000	10,000	0	4,790,000	0	0	200,000	5,200,000	△ 210,000
福利厚生費	610,000	250,000	170,000	20,000	0	440,000	0	0	170,000	210,000	400,000
旅費交通費	1,230,000	600,000	520,000	10,000	0	1,130,000	0	0	100,000	1,520,000	△ 290,000
通信運搬費	2,670,000	840,000	1,380,000	80,000	0	2,300,000	10,000	10,000	360,000	2,780,000	△ 110,000
減価償却費	610,000	130,000	350,000	0	0	480,000	0	0	130,000	780,000	△ 170,000
支払手数料	9,280,000	20,000	50,000	3,220,000	0	3,290,000	70,000	70,000	5,920,000	210,000	9,070,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,190,000	1,450,000	350,000	110,000	0	1,910,000	30,000	30,000	250,000	3,150,000	△ 960,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	10,050,000	1,120,000	8,400,000	530,000	0	10,050,000	0	0	0	10,370,000	△ 320,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	1,000,000	720,000	210,000	0	0	930,000	0	0	70,000	1,000,000	0
賃借料	22,650,000	20,860,000	670,000	130,000	0	21,660,000	200,000	200,000	790,000	22,680,000	△ 30,000
保険料	870,000	790,000	10,000	0	0	800,000	0	0	70,000	790,000	80,000
諸謝金	1,040,000	70,000	970,000	0	0	1,040,000	0	0	0	1,450,000	△ 410,000
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	3,000,000	0
会議費	810,000	0	120,000	300,000	0	420,000	0	0	390,000	1,250,000	△ 440,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	200,000	0	200,000	0	0	200,000	0	0	0	340,000	△ 140,000
委託費	10,350,000	5,350,000	2,480,000	220,000	0	8,050,000	0	0	2,300,000	8,410,000	1,940,000
研修費	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000	0
宣伝費	270,000	270,000	0	0	0	270,000	0	0	0	160,000	110,000
仕入費	420,000	0	0	0	0	0	420,000	420,000	0	700,000	△ 280,000
諸会費	550,000	230,000	80,000	0	0	310,000	0	0	240,000	530,000	20,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	8,480,000	0	0	0	6,780,000	6,780,000	0	0	1,700,000	0	8,480,000
奨学金給付額	4,500,000	0	0	4,500,000	0	4,500,000	0	0	0	4,500,000	0
<b>経常費用計(B)</b>	<b>124,790,000</b>	<b>57,720,000</b>	<b>35,500,000</b>	<b>9,170,000</b>	<b>6,780,000</b>	<b>109,170,000</b>	<b>840,000</b>	<b>840,000</b>	<b>14,780,000</b>	<b>105,230,000</b>	<b>19,560,000</b>
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 8,870,000</b>	<b>△ 35,150,000</b>	<b>△ 34,510,000</b>	<b>0</b>	<b>61,850,000</b>	<b>△ 7,810,000</b>	<b>510,000</b>	<b>510,000</b>	<b>△ 1,570,000</b>	<b>7,860,000</b>	<b>△ 16,730,000</b>
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 8,870,000</b>	<b>△ 35,150,000</b>	<b>△ 34,510,000</b>	<b>0</b>	<b>61,850,000</b>	<b>△ 7,810,000</b>	<b>510,000</b>	<b>510,000</b>	<b>△ 1,570,000</b>	<b>7,860,000</b>	<b>△ 16,730,000</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>38,432,788</b>	<b>△ 431,547,393</b>	<b>△ 424,029,040</b>	<b>0</b>	<b>890,476,464</b>	<b>34,900,031</b>	<b>718,709</b>	<b>718,709</b>	<b>2,814,048</b>	<b>30,572,788</b>	<b>7,860,000</b>
<b>一般正味財産期末残高(E)</b>	<b>29,562,788</b>	<b>△ 466,697,393</b>	<b>△ 458,539,040</b>	<b>0</b>	<b>952,326,464</b>	<b>27,090,031</b>	<b>1,228,709</b>	<b>1,228,709</b>	<b>1,244,048</b>	<b>38,432,788</b>	<b>△ 8,870,000</b>
II 指定正味財産増減の部											
受取寄附金への振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,771,217	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>18,771,217</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>852,648,582</b>	<b>530,686,750</b>	<b>0</b>	<b>18,771,217</b>	<b>302,659,000</b>	<b>852,116,967</b>	<b>531,615</b>	<b>531,615</b>	<b>0</b>	<b>833,877,365</b>	<b>18,771,217</b>
<b>指定正味財産期末残高(F)</b>	<b>852,648,582</b>	<b>530,686,750</b>	<b>0</b>	<b>18,771,217</b>	<b>302,659,000</b>	<b>852,116,967</b>	<b>531,615</b>	<b>531,615</b>	<b>0</b>	<b>852,648,582</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高(E)+(F)</b>	<b>882,211,370</b>	<b>63,989,357</b>	<b>△ 458,539,040</b>	<b>18,771,217</b>	<b>1,254,985,464</b>	<b>879,206,998</b>	<b>1,760,324</b>	<b>1,760,324</b>	<b>1,244,048</b>	<b>891,081,370</b>	<b>△ 8,870,000</b>